

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 りんくる我如古

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			・活動部屋、学習部屋、があり 用途によって使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6			・規定人数の配置は適切に配 置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	4	2		・事業所が2階にある為、バ リアフリー化が難しいところ がある。	・事業所が2階にあり、トイレに手 すりがなく、改装も難しい状況。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6			・ホームページにて公表して いる。	・ホームページ内の事業所案内 ページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6				
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6			・研修案内等があるときは周 知されている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6			・支援が偏らないように職員全 員で課題を検討している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6			・活動ごとのチームがあり、ミー ティングで話し合い決定してい る。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6			・来所時に必ずミーティングを 行なっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6			・翌日のミーティングで振り返り を行なっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6			・個別会議を行い、内容を計 画書に盛り込んでいる。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・迎え時間等、朝で必ず学校へ確認し担当を決めて漏れないようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			・現在、該当する児童がいない。	・現在対象の児童はいないが、対象児童がいれば連絡体制は整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			・計画相談員さんを介して、情報共有している。	・契約前の担当者会議で引継ぎをしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				・事例がないが、今後対象児童がいれば、対応していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6			・児童館へ遊びに行き、地域のお友達と交流している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1		・市町村の会議に参加し情報はあがるが、詳しく分からない。	・市町村の連絡会に積極的に参加していくようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡帳やLINEを活用し、子供の状況を連絡している。また保護者様がいつでも相談出来る環境を作っている。	・報告・連絡・相談を心がけている。連絡ノートや電話、メッセージにより保護者様と連携を取っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			・保護者様向け研修がある場合には案内している。	・研修等の案内はしているが、直接的なトレーニング等の支援は行っていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に運営規程、重要事項説明書により支援内容や利用者負担額について、児童発達支援管理責任者より説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・子育ての悩み等がある保護者様に対して、お電話や事業所に来て貰い悩みを聞いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			・保護者会を開催し、保護者様同士相談したり出来る場を作っている。	・コロナ禍が明けて、保護者会再開している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・毎月予定表を配布しており、連絡事項は電話等にて行なっている。	・活動の様子等はホームページのブログに載せています。
	35	個人情報に十分注意している	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6				
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				・契約時、モニタリングの際に保護者様向け説明を行なっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				・契約時、モニタリングの際に保護者様向け説明を行なっている。避難訓練を半年に1回訓練を行なっている。 ・津波警報の際には、事前に保護者様向け連絡が出来ていなかったため、改善が必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				・事例はないが、今後対象児童がいれば、対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・医師からの指示書に基づく対応が出来るように職員に周知している。	・アレルギーの対応が出来るように、訓練用の器具を使用し職員間で訓練している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・他事業所含め、職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	